

天塩川ものがたり 第16回「剣淵町・絵本の館 絵本の里大賞」

お話：剣淵町絵本の館 学芸員・司書 高橋愛佳さん

放送日：平成23年9月21日(水) 11:30～30分

第16回天塩川ものがたりでは、絵本の里けんぶちということで、剣淵町で子どもたちに夢と希望を与えてくれる絵本を1日中楽しむことのできる施設「剣淵町絵本の館」についてお届けしました。

今回お話を伺ったのは司書の高橋愛佳さん。不思議な卵型をした施設全体を案内していただきました。そのほか、剣淵で絵本の里づくりが始まった経緯や、今年も8月1日から9月30日まで行われているイベント「第21回けんぶち絵本の里大賞」と絵本原画展についてもご紹介いただきました。

平成16年にリニューアルオープンされた施設内は、まだまだ新しくきれいで、特に卵型をしているその中央や外からは、窓からまわりの木々の緑や自然を見て感じることができ、子どもたちを連れてきているお母さんたちの安らげる憩いの場にもなっているようです。

通年で利用できる体験メニューなどもあり、周辺の学校の授業の一環として利用したり、団体などで利用されることも多いそうです。絵本の読み聞かせのおはなしタイムや工作なども行われているようなので、是非ご家族やお友達と、ゆったりとした楽しい時間を過ごしてみたいはいかがでしょうか。



入ってすぐの絵本コーナー。約1万8000冊の絵本が絵の作者順に並べられています。小さい頃に読んだ懐かしい絵本も見つかるはずですよ。

また施設は本当に卵のような形。ぐるっとまわりながら次は何かとワクワクしてしまいます。



こちらが今年で第21回目となる絵本の里大賞のイベント会場です。今年1年で発行された265のピカピカの絵本から、来場者一人ひとりが好きな絵本を選んで投票するというもので、大賞ほか各賞が用意されています。絵本との出会いを通して一人ひとりの完感性を大切に育みたいという願いも込められています。



こちらは中庭に面してまあるく突き出すドーム型のおおきな「たまごのへや」。木の砂場で優しい木のぬくもりを感じながら、元気に遊べる大人気のコーナーです。



絵本の館には、喫茶コーナーもあります。ドリンクや軽食ほか、手作りの雑貨などを見て楽しみながら、くつろぎのひととき。お母さん達にも人気です。



今回お話を伺った高橋さん。長年絵本の館に勤めていることもあり、楽しく絵本の魅力について教えて頂きました。毎月ネットでも発信中の「夢発信」も是非覗いてみて下さいね。



剣淵町絵本の館

休館日：毎週水曜日・年末年始

〒098-0332 上川郡剣淵町緑町15番3号

Tel：0165-34-2624 fax：0165-34-3345